

記入例

農業経営改善計画認定申請書

平成××年××月××日

海津市長 松永清彦 あて

申請者住所 海津市〇〇××

氏名 〇〇 〇〇

農業法人の場合は、氏名欄に法人名と代表者氏名を書き、法人の設立年月日も必ず記入する。

昭和××年××月××日生 (××歳)

<法人設立年月日 年 月 日 設立>



農業経営基盤強化促進法（昭和 55 年法律第 65 号）第 12 条第 1 項に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農 業 経 営 改 善 計 画					
①目標とする営農類型		施設野菜(トマト、きゅうり)+水稻			
②経営改善の方向の概要 ※農業経営の現状として、専業・兼業の別、主要作目の生産状況等（必要に応じ現在の経営に至るまでの発展経緯について）を記載する。 ※目標とする営農類型へ向けた経営改善の方策について、達成の結果として見込まれる主要作目の規模、生産見込み等を記載する。		・これまで家族を中心とした水稻や施設野菜経営を行ってきた。 ・今後は消費者ニーズに対応した野菜を安定的・継続的に生産していくための経営改善に取り組み、省力化と所得の確保を図る。 ・年間労働時間を短縮し、ゆとりある生活を実現したい。			
		その現状及び5年後の目標を記載。			
		(年間農業所得及び年間労働時間の現状及び目標)			
			現 状	目 標 (××年)	
		年間農業所得	3,000,000 円	5,000,000 円	
		年間労働時間	2,500 時間	2,000 時間	
③ 農業経営規模の拡大に関する目標	作目・部門名	現 状		目 標 (××年)	
		作付面積(a) 飼養頭数	生 産 量 (販売額)	作付面積(a) 飼養頭数	生 産 量 (販売額)
	施設トマト	20 a	24,000kg (6,600,000 円)	25 a	30,000kg (8,250,000 円)
	施設きゅうり	20 a	12,000kg (3,180,000 円)	25 a	15,000kg (3,975,000 円)
	水 稻	400 a	20,400kg (4,365,600 円)	500 a	25,500kg (5,457,000 円)
・作付面積の拡大、反収のアップによる生産量の拡大や作目の変更等を記載する。 ・目標値は5年後の所得が 400万円以上になるように計画してください。					
経営面積合計		440 a	14,145,600 円	550 a	17,682,000 円

③ 農業経営規模の拡大に関する目標

区 分	地 目	所 在 地 (市町村名)	現 状	目 標 (××年)
所有地	田	海津市	400a	400a
	畑	海津市	20a	20a
借入地	田	海津市		100a
	畑	海津市		5a
特定作業受託	作 目	作 業	現 状	目 標 (××年)
			作業受託面積	生産量
作業受託	作 目	作 業	現 状	目 標 (××年)
	「特定作業受託」欄に記載した作業受託以外の作業受託は、作物別に基幹作業（例：耕起代かき、田うえ、収穫）別に作業受託面積を記入する。換算後の欄においては、（作業受託面積÷作業数）により換算した面積を記入する。			
	単 純 計			
	換 算 後			
農畜産物の加工・販売その他の関連・付帯事業	事 業 名	内 容	現 状	目 標 (××年)
	・農畜産物を原料又は材料として使用して行う製造又は加工 ・農畜産物の貯蔵、運搬又は販売 ・農業生産に必要な資材の製造等 について記入してください。			

④生産方式の合理化に関する目標	機械・施設	機械・施設名	型式、性能、規模等及びその台数	
			現 状	目 標 (××年)
		トラクター	46ps 1台	46ps 1台
		田 植 機	4 条 1台	4 条 1台
		コンバイン	4 条刈 1台	4 条刈 1台
		乾燥機	4 0 石 1台	4 0 石 1台
		トラック	2 ト 1台	2 ト 1台
		農機具庫	50 m ² 1棟	50 m ² 1棟
	ハウス	2,000 m ²	2,500 m ²	
	現状及び目標時に所有する主な機械・施設について、その形式・性能・規模毎に台数を記入する。 リース、レンタル共同利用等による場合は、その旨も記入する。			
農用地条件	現 状	目 標 (××年)		
	20～30a区画中心	隣地を借入れ農地の集約化を図り、作業効率の向上を図る。		
主として利用する圃場の区画の大きさ、団地化した圃場の規模、数、通作距離等を記入。				
作目・部門別 合理化の方向	作目・部門名	現 状	目 標 (××年)	
	施設野菜	2,000 m ² のハウスでトマトやキュウリを栽培	ハウス施設を拡大し所得の向上を図る。	
	水稻	育苗は手灌水	自動灌水で省力化し、経営面積の拡大を図る。	
	③の作目・部門ごとに品種構成、作付体系、飼養管理の方法等を生産方式の合理化について記入する。			
⑤経営管理の合理化の目標	現 状	目 標 (××年)		
	青色申告しているが税理士任せで十分に経営状況を把握していない。	自ら複式農業簿記を記帳し、経営と家計を明確に分離する。		
簿記記帳、経営内役割分担、経営形態の近代化（法人化）などを記入する。				
⑥農業従事の態様等の改善の目標	特に休日を決めていない。	臨時雇用を導入し、休日制の実施。		
	休日制の導入、臨時雇用の活用による労働負担軽減等について記入する。 家族経営協定を締結している場合には、その旨と協定に基づく家族間の役割分担等の内容を記入する。			

経営改善の目標		措 置					
⑦ 目標を達成するためにとるべき措置	規模拡大と農地集積	・ 農地保有合理化事業により規模拡大と農地を集積する。					
	生産方式の合理化	・ 規模拡大に伴って育苗ハウスを拡大し、自動灌水施設を導入して省力化を図る。					
	経営管理の合理化	・ 複式農業簿記講習会に参加して記帳能力を習得する。					
	農業従事態様の改善	・ 家族経営協定を締結し、休日制や月給制を導入する。					
		・ ②から⑥までの目標を達成するための具体的な方策について本認定制度の活用も踏まえて記載する。 ・ 農業改良資金等の制度資金を利用する場合は予定年度、予定資金、資産及び負債の現状、資金需要額等を記載する。					
		目安⇒8時間を1日とする。					
(参考) 経営の構成	氏 名 (法人経営にあっては役員の氏名)	年齢	代表者との続柄 (法人経営にあっては役職)	現 状		見 通 し	
				担当業務	年間農業従事日数 (日)	担当業務	年間農業従事日数 (日)
	海津 太	5 1	(代表者) 本人	水稻 トマト	330	水稻 トマト	250
	海津 花	4 8	妻	きゅうり トマト	330	きゅうり トマト	220
	海津 一	2 2	長男		0	水稻 きゅうり	200
現在農業に従事しており、5年後には作業から離れている予定の従事者や5年以内に就農予定の者も記入する。							
雇 用 者	常時雇 (年間)	実 人 数		現 状	人	見 通 し	人
	臨時雇 (年間)	実 人 数		現 状	0 人	見 通 し	1 人
		延べ人数		現 状	0 人	見 通 し	2 0 人
(参 考) 他市町村の認定状況	認定市町村名			認定年月日		備 考	